

「原水爆禁止 2014 年世界大会」へのメッセージ

核兵器廃絶及び世界の恒久平和の実現に取り組む皆様方の活動に、深く敬意を表し、賛同いたします。

原子爆弾により 30 数万人の尊い命を奪った惨禍から、69 年経とうとしています。しかしそれは過去の出来事ではなく、その後遺障害は今なお被爆者を苦しめ続けています。

今年 4 月『軍縮・不拡散イニシアチブ』外相会合が広島市で開催されました。その宣言の中で、核兵器の非人道性について言及し『国境と世代を超えて認識を広げる重要性』を指摘しました。また核保有国を含む各国指導者へ被爆地訪問も要請しています。それらがすべて実現し国際情勢の中で、核軍縮の機運が高まっていくことが強く望まれます。

尾道市では、1985 年に「非核平和都市宣言」を行い国際社会の連帯と平和主義の原点に立ち、非核三原則の完全実施を願うとともに、核兵器の全面撤廃を全世界に喚起し、恒久平和を求め続けていきます。

すべての核兵器と戦争のない平和で豊かな社会が訪れるまで、粘り強い取組を進めていきましょう。

原水爆禁止 2014 年世界大会の盛会と成功を心からお祈りし、メッセージといたします。

平成 26 年 7 月 10 日

尾道市長 平谷 祐宏